

地域の方に温かく見守られながら、娘は、たくましく成長しています。

学生時代、原付バイクで川根本町を訪れたことがあり、「のどかでいいところだ」と感じていました。大学4年の時、東日本大震災をきっかけに「都会に比べて不便でも自然に囲まれてたくましく暮らしたい」と思うようになって、まず頭に浮かんだのが、川根本町の山里の風景でした。

当時つきあっていた夫に「卒業後は川根本町に住みたい」と伝え、この地で小学校の教員になり、夫と移住しました。

川根本町は話好きの方が多く、私たちを温かく迎えてくれました。4年前に長女が生まれてから、地域の方との距離はさらに縮まった気がします。地域に子どもたちが少ないからか、みなさんが娘を可愛がってくれます。一緒に散歩していると声をかけてくれたり、遊んでくれたり。娘はまるで「地域のアイドル」のような存在です。たくさんの人たちの愛情を受けながら、川遊びをしたり、山で鹿の角を拾ったり、のびのびと育つ姿を見ていると、ここで暮らして良かったと思います。



移住前／愛知県
小泉香楠さん



接岨湖で、SUP、カヌー、カヤックを楽しむ。



梅干し、梅ジュースづくりなど、手仕事を楽しむ日々。



近所の桜。季節の移ろいを家族みんなで楽しんでいます。

静岡中部で 育てる

大声で笑って、野原を走って、たっぷり学ぶ。恵まれた環境のなかで、子どもたちはのびやかにたくましく成長していきます。



子育て支援

7市町では、子ども医療費の助成や待機児童の対策など子育て支援を進めています。詳しくは、各市町にお問い合わせください。



文化教育施設

美術館、博物館、図書館などの文化施設が充実し、文化イベントも盛んです。子どもたちの感性を育む環境が整っています。



大学

7市町の中には、国公立大・私立大学あわせて7校のキャンパスがあります。様々な学部があり、幅広い分野を学ぶことができます。

- 静岡大学
- 静岡県立大学
- 常葉大学
- 東海大学 海洋学部
- 静岡英和学院大学
- 静岡産業大学
- 静岡福祉大学

気が向けば、すぐそこに海があるから、サーフィンが暮らしの一部に。

海の近くでサーフィンを楽しみながら暮らしたい。牧之原市に移住したのはシンプルな理由です。

ハイシーズンは早朝4時から海へ。そのあと出勤して会社で働いた後、そのまま海へ直行して、19時過ぎまでサーフィンをしています。御前崎の岬を境に風向きが変わるので、いつも良い波に乗れます。サーファーにとっては理想に近い環境で、全国から牧之原市に移住する人も少なくありません。

現在は、プロサーファーとして大会に出場しながら、地域のサーフィン普及活動にも参加。サーフィンの魅力をできるだけ多くの人に伝えていきたいと思っています。また7歳の息子と3歳の娘の父として、休日は家族サービスの日になっています。キャンプに出かけたり、買い物に出かけたり。といっても、やはり海が遊びの中心。子どもたちも、この海が大好きです。



いい波に乗ると最高の気分になれます。



子どもたちも、よく海で遊んでいます。



家族で海に行くことも。家族全員、静波の海が好きなんです。

相談員の方にサポートしてもらってスムーズに移住をすることができました。

夫が静岡県立大学の教員として働くことになり、移住することになりましたが、知り合いも土地勘もなく不安でした。ちょうど大阪の移住イベントに静岡市が参加していたので、相談に行きました。

本来は、移住の前に何度か静岡市を訪れれば良いのですが、3歳児と双子の1歳児を抱えていたため、それもできません。静岡市の移住相談員の方からのメールが頼りでした。住まいのこと、保育園のこと、周辺環境や支援制度のことについて、一つ一つ丁寧に答えてもらったことで、スムーズに移住ができたと思います。

静岡市で暮らして感じたことは、とにかく暖かいこと。コートを着る機会はずっとありません。富士山が大きいこと。清水港から富士山を見た時、その美しさに感動を覚えました。また、歩くスピードも話し方も大阪よりゆっくりで、のんびり子育てができそうです。



移住前／大阪府
松裏 幸恵さん



子どもたちは近所の公園で遊ぶのが大好きです。



休みの日は、近くの公園でのんびり。



家族で楽しめるところが色々。お出かけるのが楽しみです。